



2021年4月30日

各位

会社名株式会社ファンデリー  
代表者名代表取締役阿部公祐  
(コード番号: 3137 東証マザーズ)  
問合せ先取締役茅野智憲  
経営管理本部長  
(TEL. 03-6741-5880)

## 業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2020年10月30日に公表した2021年3月期の通期業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2021年3月期 通期業績予想と実績値の差異 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	3,350	△295	△298	△243	△38円22銭
実績値 (B)	3,062	△553	△559	△374	△58円79銭
増減額 (B-A)	△287	△258	△261	△131	△20円57銭
増減率 (%)	△8.5	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	3,348	539	536	345	53円81銭

#### 2. 差異の理由

2021年3月期の業績につきましては、主力のMFD (Medical Food Delivery) 事業において、新型コロナウイルス感染症による外来患者の減少等の影響を受け、紹介ネットワークを通じた顧客獲得が想定を下回っていることから、売上高2,673百万円 (前回予想2,829百万円)、セグメント利益 (営業利益) 609百万円 (前回予想672百万円) となりました。

また、CID (Cooking Immediately Delivery) 事業においては、新規顧客数の増加に伴い、売上高は想定を上回る結果となった一方、現状の製品在庫数及び新規顧客数並びにリピート率を考慮して、損益分岐点の未達及び2022年3月期に販売できない可能性のある製品在庫と判断した製品評価損664百万円を計上したことから、売上高29百万円 (前回予想20百万円)、セグメント損失 (営業損失) 1,102百万円 (前回予想954百万円) となりました。

さらに、マーケティング事業においては、大型案件の獲得に向け営業活動に邁進しておりまし

たが獲得に至らず、当初の想定を下回り、売上高 360 百万円（当初予想 500 百万円）、セグメント利益（営業利益）257 百万円（当初予想 344 百万円）となりました。

これらの結果、各段階損益における損失が拡大することとなりました。

以上